

【39 回生同窓会報告】

39 回生同窓会報告

島田正宏

去る7月17日(土)、18日(日)の両日、岐阜市長良川畔「長良川ホテル石金」にて16名の参加(内、夫婦同伴1組)によるレ専校39回生同窓会を開催しました。岐阜での開催にあたり、岐阜の風物詩でもある長良川の鶺鴒観覧も考慮し、気候的に適していると思われたこの日程で計画した。7月初めからの活発な梅雨前線の影響により日本列島の各地で集中豪雨に見舞われ、岐阜でも記録的な豪雨で川の増水により16日までの数日間鶺鴒が中止されていたため、当日の中止も覚悟しましたが、前日朝から天候が回復し川の水位も下がり、当日正午発表の実施決定の連絡を受けたときはほっとしました。

3時過ぎ、会場に到着した者からいつも通り飲み始め、入浴も済ませた5時半頃には全員が揃い、予定通り6時から宴会を開始しました。

宴会に先立ち、これまでに逝去された4名のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げた後、歓迎の挨拶に続いて、ご多忙にもかかわらずご出席をいただきました山田先生にご挨拶をいただいた後、藤原氏による乾杯の音頭で開宴しました。

お酒を酌み交わしながら学生時代の昔話や近況を語り合った後、乗船して鶺鴒観覧場所まで移動し船頭の説明を聞きながら待機していると、篝火を焚いた6艘の船が一定の距離を保ちながら近付いてきた。鶺鴒匠がそれぞれ12羽の鶺鴒を操りながら鮎を捕獲していく様子を見学しました。

鶺鴒観覧後は部屋に戻り、各自の外国旅行体験談や思い出話に聞き入っているうちに時間も過ぎ、日付が変わる頃、三々五々寢床につきました。翌日は、有志でホテルから見える金華山頂にそびえ立つ岐阜城までロープウェイで登り天守閣から伊吹、養老、御岳の山々や濃尾平野を一望して下山した後、次回開催時での再会を約束して散会しました。

出席者(順不同)

山田勝彦先生、泉 栄一夫妻、竹原聡史、藤原伸行、駒井良則、山田清章、山 哲男、湯田秀男、門間静雄、大屋俊男、松本進、後藤正夫、内山陽一、武田典明、島田正宏

以上

*通巻197号 2010年10月10日発行(H22 - No.3)より

